

KMNの理念・運営方針

理念

地域医療連携推進法人北河内メディカルネットワークは、施設間の垣根を越えた医療連携推進業務により、大阪府北河内医療圏における医療機関の機能分担と相互連携を推進する。また、地域住民に安心・安全かつ質の高い医療・介護サービスを提供し、北河内圏域における地域包括ケアシステムの構築に寄与する。

運営方針

参加病院等及び参加介護施設等において、将来を見据えた医療需要に対応できるよう業務連携を進める。

医療・介護をめぐる厳しい経営環境や少子高齢化問題に柔軟に対応するために、参加病院等及び参加介護施設等の経営の安定化と効率化を追求し、サービスの信頼性向上に取り組む。

参加病院等及び参加介護施設等の情報共有と相互連携を推進し、地域住民が住み慣れた地域で、切れ目なく適切な医療・介護サービスを利用できる連携モデルを構築する

参加法人の役割

KMNにご参加いただく法人・個人には以下のご対応をお願いいたします。

医療連携推進事業への参画

前述の各種事業への積極的なご参画をお願いします。

各種会議への出席

- ◆年に2回の社員総会(2024年度:6月、3月)にご参加いただけます。
※上記期間以外に臨時社員総会を開催する場合がございます。
- ◆随時開催している事務担当者会議にご参加いただけます。

その他

- ◆KMN事業報告書作成のため法人の財務状況をご共有いただけます。
- ◆定款で定める重要事項につき、予めKMNにご相談いただく場合がございます。
- ◆KMNの規程で定められている年会費をお支払いいただけます。

法人概要と沿革

法人名称 地域医療連携推進法人 北河内メディカルネットワーク(略称:KMN)
住 所 大阪府枚方市新町2-5-1(関西医科大学内)
T E L 072-804-2640(KMN事務局 直通)

沿革
● 2018年11月1日 一般社団法人北河内メディカルネットワークを設立
● 2019年6月12日 大阪府より地域医療連携推進法人の認定を受ける

これまでの取り組み

各種研修会の実施
(2024年度テーマ)

- ◆医療安全共同研修「医療者による破壊的行為とその予防」
- ◆感染対策共同研修「薬剤耐性菌への感染対策」
- ◆能力開発共同研修「ファシリテーション」

検査予約システム

関西医科大学附属病院のCT・MRI・PET・シンチグラムの検査予約が可能

共同購買

診療材料や事務用品について一括交渉による共同購買を実施

KMN社員と役員一覧

(2026年1月1日時点)

学校法人関西医科大学 山下 敏夫 代表理事
医療法人河北会 板垣 通孝 理事
医療法人毅峰会 吉田 和正 理事
社会医療法人山弘会 小林 卓 理事
医療法人和敬会 津田 信幸 理事
医療法人亀廣記念医学会 亀廣 摩弥 監事
医療法人道仁会 宮崎 悦子 監事

社会医療法人美杉会
社会医療法人信愛会
社会医療法人みどり会
医療法人清水会
医療法人(社団)有恵会
医療法人りんどう会
医療法人敬節会
松島病院



地域医療連携推進法人
北河内メディカルネットワーク

KMNの今後の展望

Training/seminars

研修・講習会 分野

- 将来の取組**
 - ◆ 各社員が実施している各種研修講習会をデータベース化し、いつでもオンラインで閲覧可能とする
- 数年後の取組**
 - ◆ 病院の枠組みを超えたグループワークを行い人材交流を図る
 - ◆ 研修、講習会参加手続きの簡便化
- 当面の取組**
 - ◆ 多様なテーマに亘る研修・講演会を実施
 - ◆ 研修を通じて社員の医療の質向上を図る

medical cooperation

医療連携 分野

- 将来の取組**
 - ◆ 地域の病床稼働状況を共有するシステムの構築
 - ◆ 遠隔画像診断・疾患診断コンサルタント体制の構築
- 数年後の取組**
 - ◆ 大規模災害に向けた共同研修、災害訓練の共同実施
 - ◆ 病院BCPの作成支援
- 当面の取組**
 - ◆ 感染対策向上加算支援
 - ◆ 参加法人が有する高度医療機器の共同利用の促進

Human resource development/exchange

人材育成・交流 分野

- 将来の取組**
 - ◆ 特定看護師の派遣
 - ◆ 献体を用いた手術訓練の実施
 - ◆ 看護師、理学・作業療法士の紹介
 - ◆ 合同カンファレンスによる医師の人材交流
- 数年後の取組**
 - ◆ 特定看護師養成への参画
 - ◆ 認定看護師による講演会の開催
 - ◆ 手技練習機会の提供
 - ◆ 医療スタッフの採用に関する共同取組
 - ◆ 研修等を通じたコメディカルの人材交流
- 当面の取組**
 - ◆ 潜在看護師の復職支援

joint purchasing negotiations

共同購買交渉 分野

- 将来の取組**
 - ◆ 医薬、医療関連物品の共同購買開始
 - ◆ KMNフォーミュラーの策定
 - ◆ 医療機器の共同利用を前提とした地域単位での高度医療機器購入プランの策定
- 数年後の取組**
 - ◆ 一般汎用品（文房具、ティッシュ、トイレトペーパー等）の共同購買開始
- 当面の取組**
 - ◆ 共同購買交渉の検討開始

others

その他

- 将来の取組**
 - ◆ ICT・セキュリティ対策に関する相談窓口の開設
 - ◆ 現場からの医療ニーズに応じた商品の紹介、新規商品の開発に繋げる医療ニーズ窓口の設置
- 数年後の取組**
 - ◆ 参加法人施設の共同利用促進
- 当面の取組**
 - ◆ 各法人で実施している業務改善案の共有

代表理事ご挨拶

少子高齢化社会が進展する中で、地域包括ケアシステムを構築し、地域住民に対して質の高い効率的な医療・介護サービスを提供することは喫緊の課題です。KMNは、北河内二次医療圏（枚方市、守口市、寝屋川市、大東市、門真市、四条畷市、交野市）の12の法人・個人が集い、2019年6月に大阪府初の地域医療連携推進法人として認定されました。それから6年が経過し、今では15の法人・個人（20施設）が参加する組織となり、様々な連携推進業務を通じ、医療・介護の連携推進と効率化に向けて日々尽力しております。

昨今、地域医療連携推進法人への期待はますます高まりつつあります。少子化高齢化が予想以上のスピードで進み地域医療構想の早期具体化が求められる中、内閣府から発せられた「経済財政運営と改革の基本方針」では、質の高い医療提供体制の構築と機能分化を一層進めていくために当該法人制度をより一層有効活用することが掲げられました。

このような社会背景の中、KMNは医療機関等の競争から協調への転換を進めるため活動を充実させ、地域医療の質向上に向けて取り組んで参ります。

代表理事 山下 敏夫

★印は2026年1月時点の状況